

議会だより



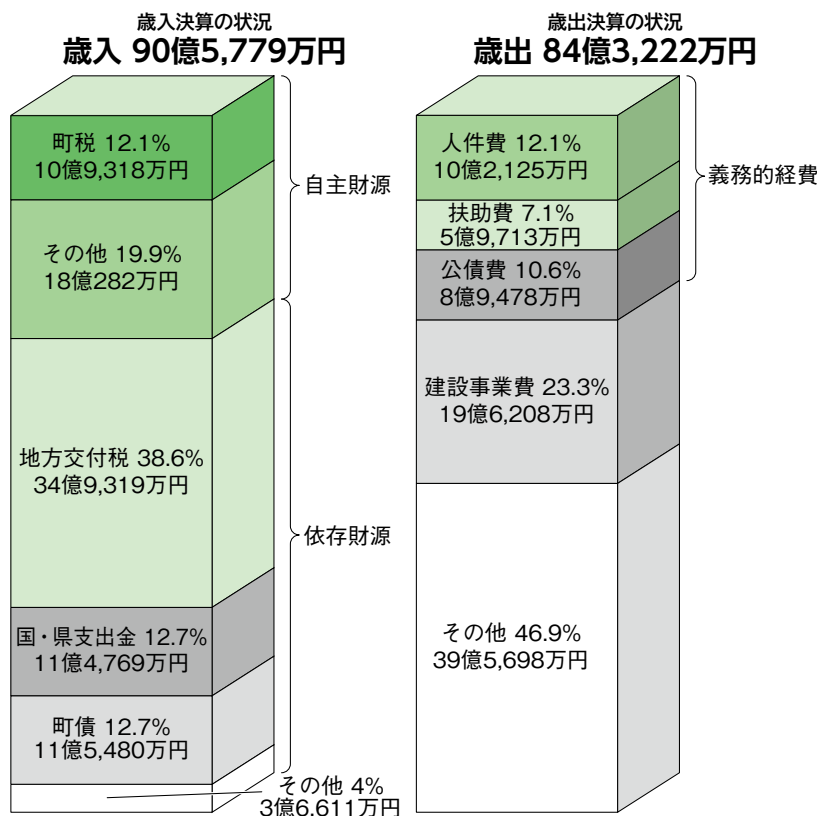
一般質問(コロナ禍、災害対策など課題と方針を質す)..... 9
令和2年度予算・政策要望..... 19
あの質問どうなった..... 20
新しい町づくりへわたしの提案..... 23

近所のカカシさんは人気者
(ペンネーム「みつどんファン」さん撮影)
関連記事24p

発行/長野県飯網町議会 編集/議会報編集調査特別委員会 発行責任者/大川 憲明
〒389-1293 長野県上水内郡飯網町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和2年9月30日現在 人口10,878人(98.4%) / 男5,339人(98.2%)・女5,539人(98.6%)
世帯4,220(100.2%) ※うち外国人世帯29(93.5%) ()内は前年比率

令和元年度一般・特別会計決算を認定 町税は微増 地方交付税は増加



●9月定例会は1日から24日までの24日間の日程で開催された。

●令和元年度一般・特別会計の決算、2年度補正予算など町からの提出議案は、報告2件、条例2件、決算の認定が11件、補正予算6件、その他7件、28件すべて原案どおり認定、可決した。

●発議4件可決。請願4件の内2件採択、2件継続審査とした。

※提出議案の数字を使用しているため「いづな通信」とは合致しない

<用語解説>

自主財源＝自治体が自主的に収入する財源で、この財源の多寡が、行政活動の自主性と安定性を確保しているかどうかの尺度となります。

依存財源＝国、県などにより定められた額が交付されたり、割り当てられる財源です。

義務的経費＝人件費、扶助費、公債費。

特別会計決算 令和元(2019)年度決算総括表 (単位:千円)

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
からまつの丘地区 污水处理場管理事業		1,905	1,187	718
訪問看護ステーション		51,584	44,364	7,220
国民健康保険事業		1,419,843	1,379,499	40,344
後期高齢者医療		156,980	156,473	507
介護保険事業		1,204,699	1,204,055	644
農業集落排水事業		393,749	345,019	48,730
飯綱公共下水道事業		348,271	297,938	50,333
住宅地造成事業		17,743	13,353	4,390
特別会計合計		3,594,774	3,441,888	152,886

賛成討論―渡邊千賀雄
スキー場特別会計がなくなった。憲法9条を守り、福祉増進を図る町政を推進し、人口減問題、地域の農業振興等に取り組んできた。計画通りの財政運営を求める。

令和元年度飯綱町一般会計
歳入歳出決算の認定について

地方創生推進交付金事業

～主な事業実績～

1. 世界に誇る力強い産業形成事業 2億2,510万円

(国庫支出金7,388万円、地方債4,610万円、一般財源1億513万円)

≪農業所得の向上、新規就農者の獲得、耕作放棄地の減少等を目標に事業展開≫

- (1) 三本松農業拠点施設整備関連事業
 - ・ 建設工事・駐車場及び外構整備工事・実施設計・工事監理
 - ・ 備品購入・土地借地料
- (2) 三本松エリア加工施設建設関係
 - ・ 設計業務・加工所活用に向けた機能性食品開発等の研究業務
- (3) 直売施設組織の経営統合
 - ・ 直売組織再編に係る新組織の研究業務等・牟礼農産物直売所施設購入



▲いいづなマルシェ むーちゃん

2. しごとの創業・交流拠点整備事業 1億6,250万円

(国庫支出金7,171万円、地方債5,240万円、一般財源3,839万円)

≪「しごと」を通じた交流の場を創設し、企業や雇用の地方への流れを促すことを目的に事業展開≫

- (1) しごとの創業・交流拠点整備事業業務委託
 - ・ 創業・交流拠点の事業運営モデルの確立
 - ・ 「(仮称)まちづくり会社」設立支援
 - ・ 各種試験プログラム「いいづなフューチャースクール事業」の実施
 - ・ 創業支援プログラム「いいづな事業チャレンジ」等の実施
- (2) 旧三水第二小・旧牟礼西小ビジュアルアイデンティティ*策定業務
 - ・ 愛称募集の業務支援、統一コンセプトのまとめ、ビジュアルデザインの作成、ロゴ案の検討
- (3) 情報発信・町民交流・定移住サポートセンター「ZQ」管理運営業務
- (4) 旧三水第二小改修工事監理業務、追加設計業務
- (5) 拠点整備における備品購入



▲いいづなコネクトEAST
コンセプトイメージ

※ シンボルやロゴなどブランドを象徴するデザインのこと

3. 自然の中の暮らし魅力創造発信事業 1億2,614万円

(国庫支出金5,000万円、地方債3,820万円、一般財源3,794万円)

≪旧牟礼西小跡地活用を含む地域活性化を推進し、交流人口や関係人口の増加を目的に事業展開≫

- (1) 旧西小学校跡地拠点整備事業
 - ・ 整備工事・実施設計業務・監理業務
- (2) 情報発信ウェブサイト「いいいいいいづな」管理運営業務
- (3) 地域住民と千葉工業大学の共働プロジェクト業務委託
 - ・ 現地確認、ワークショップ、地域行事の体験、提案発表会
- (4) 「都市農村交流推進」業務
 - ・ 農泊事業
 - ・ 施設等を活用した交流事業の開発、実施



▲いいづなパルセイロフィールド

令和元年度決算を徹底チェック

町のお金は適正・効果的に使われたか

職員研修の執行率低い

質問 職員研修費の執行率が52・1%であったが、当初予定していた件数か。

答弁 予定した件数は行った。近場の研修に参加したこと、無料の研修会等に多く参加したため、講習料等を削減できた。

質問 体制の整備が課題となっていたが、手立ては取られたか。

答弁 社会人枠を設け職員の採用を多くし、研修に行きやすい体制整備を行った。

質問 企業では、適性検査を行い、自身の特性を自覚して運転することで事故を減らすことが取り組まれているが、考えは。

答弁 一昨年には、残念な事故があった。今後、研究したい。

景観計画 繰越の理由は

質問 未来につなぐ景観プロジェクト事業が、次年度繰越になった理由は。

答弁 1年間で計画を仕上げるのは、スケジュール的に厳しいということ、できるだけ町民の方からの声を聞き、実効性のある計画にしたい。令和3年2月には、景観計画の素案を策定したい。

いびづなカード利用 店舗は増えたか

質問 今後、行政ポイントを付与するなど、地域通貨のように便利に使われていくようになると思うが、新規会員獲得のための営業活動は、行われているか。

答弁 利用店舗は8月31日現在41店舗で、カード切替え時より2店舗増えた。9月にカード組合の理事が、未登録店舗に加入のお願いに回る予定とのこと。

移住対応の物件は

質問 移住希望者からの購入、借家の相談が9件あり、2件の移住が成立したとある。マッチングしなかった主な原因は、物件不足か。また、それに対する対策は。

答弁 住む物件が無かったことが主な原因。今年からは、宅地建物取引業協会と協定を結び、いただいた空き家の情報を宅

建協会に提供し、空き家の有効活用を進める施策をしたい。また、建設課で町営住宅を整備し、住める物件を民間と町とで準備したい。

児童虐待の現状は

質問 児童虐待は、今や大きな社会問題となり、町でもやや増加傾向にある。どのような中から上がってきているのか。

答弁 保育園、小中学校等からの情報提供が主。10件の内、両親等の喧嘩

を見ている等の心理的な虐待が5件、親による暴力等が2件、ネグレクト、育児放棄が2件、子どもさん本人の心的、能力的なことでの虐待1件。



▲借家から移住を決意しリフォーム中の住宅

河川の水質向上の 取組は

質問 定期的な水質検査は実施しているが、河川の水質向上や環境浄化に向けた積極的な取組はされているか。

答弁 統計的に大腸菌群類の数値が基準を超えているので引き続き監視している。関係地区と定期的に懇談会を実施し、話し合いをしながら改善している状況。

プレミアム商品券 有効活用されたか

質問 完売しなかったが主な要因は。商品券の使用先の偏りに対する是正は。

答弁 販売期間の短さや、消費税増税の影響による買い控えが原因ではないか。使用先は一部の商店に偏りがある状況で是正されていない。

中部電力との 災害時の相互連携 協定は機能したか

質問 具体的な内容は。台風19号の際に十分に発揮されたか。

答弁 救護活用に必要な活動拠点への優先的電源供給、災害復旧時に弊害となる倒木などの対応等。19号の際も、協定に基づき速やかな対応をした。今後、長期停電にならないよう、できる限り努めるとの話をいただいている。

防災無線の個別受信機 更新状況は

質問 昨年度までの更新状況は何%か。

答弁 6月末時点で68%程度。

防犯灯・監視カメラの 増設予定は

質問 防犯灯や監視カメラの増設の予定は。

答弁 防犯灯の増設計画はないが、各地区からの要望で判断する。監視カメラは、現在通学路に3台設置されているが、今後もし必要を踏まえて検討する。

史跡案内看板の更新を

質問 住民から史跡案内看板老朽化について指摘があった。教育委員会で現状把握をしているか。

答弁 文化財調査委員とともに確認している。文化財の冊子発行に合わせて表示の見直しを行いたい。



▲文字が消え、読みづらい案内看板

学校のクラス編成の 基準は

質問 クラス編成の基準は。

答弁 国基準は小学1年のみ35人学級、それ以降は

特別会計

特定健診 受診率向上の取組を

質問 受診率の向上策は。

答弁 全額自費で人間ドックを受診された方に、特定健診または町民健診相当額の助成を実施。町外の医療機関でも受診できるように、2年度から長野県医師会加入の医療機関との集合契約を締結した。

財政調整基金 必要な備えは

質問 26年度に20億円以上の残高があったが、今年度は1億2400万円余。どれぐらいの備えが必要と考えるか。

40人学級。県基準は独自に35人学級を実施。36人になった時点で2クラスになる。統合当初は激変緩和対応をしていたが、現在の小学3先生からは、町も県の方針に基づきクラス編成を実施。

答弁 減災基金と併せて30億円程度と考える。

地域包括支援センター 人的体制は

質問 人的体制は毎年の課題。今後の見通しは。

答弁 保健師は来年4月で1名、10月で1名の育休等がある予定。採用については、臨時募集しても雇用には繋がらない。主任ケアマネは、現在2名資格者がいる状況。資格取得可能な職員には、資格の取得を勧められている。

定例会

1人1台の

タブレット整備

コワーキングスペース
月額使用料を追加

多目的施設条例の一部を
改正する条例 —可決

旧三水第二小、旧牟礼西小の共同利用ができる事務所の長期間使用に対応するため、月額の使用料を設定した。

月額 8000円



▲土・日の利用が進むコワーキングスペース

・庁舎什器備品購入(事務機、事務イス、スチール書庫、ロビータリア・ソファ1、2階事務力

物品購入契約の締結

—4件可決

・凍結防止剤散布車購入

1台

契約金額 1210万円

相手先

株式会社 前田製作所

・児童・生徒1人1台のタブレット端末(775台)の購入

契約金額

3408万29

50円

相手先 富士電

機ITソリューション株式会社

シオン株式会社

信越支店

請願

ウンター、応接用家具他)

契約金額 3784万円

相手先 株式会社 蔦友

・小・中学校情報通信ネット

トワーク環境施設整備

契約金額 6765万円

相手先 株式会社 電算

工事請負契約の締結

—可決

・旧牟礼西小学校跡地拠点

施設整備工事

契約金額 7524万円

相手先

高木建設株式会社

請願

「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書 —採択

請願者 飯綱町教職員組合

岩田 保子

国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元することを求めている。

賛成討論

— 荒川 詔夫

① 高校は義務教育と同等の水準にある。② 高等教育の工学科と貧困による不の連鎖の解消。③ 憲法による教育を受ける権利の平等化等々により賛成。

賛成討論 — 渡邊 千賀雄

教育費のあり方については、大本には憲法26条がある。高校教育が、義務教育化している現在、無償化は重要課題だ。北部高校の存続、発展にもつながる。

賛成討論 — 伊藤 まゆみ

学びたいと願う学生が安心して学べる環境を整えることは、多様な人材育成の上でも国の務めだ。コロナ禍の今だからこそ地方議会は強く求めるべきだ。

反対討論 — 青山 弘

授業料無償化は、年収910万円以上の世帯に所得制限を設けることで対象を絞り込み財源を捻出し、低所得者層の支援に活用するという政策に賛成。

委員会でも採択も 本会議では採択

「教育費無償化」の
前進を求める請願

請願者 長野高教組北部高
校分会 東 星吾

国に、1、「高校無償化」

の復活。2、「高校生等就学給付金(奨学のための給付金)」を拡充し、高校生に対する給付型奨学金制度を確立すること。3、大学生に対する奨学金制度を拡充することを求めている。



▲やぎの体験学習

反対討論 — 中島 和子

すべての高校教育無償化、給付型奨学金制度の拡充は、公費負担が増大する。年収910万円以上の世帯から徴収する所得制限導入はやむをえない。

反対討論 — 目須田 修

教育を受ける権利とは学校に行くことのみを意味しない。平等とは機会平等であり、これ以上、国の借金を次世代に残すことをしてはならない。

常任委員会での質疑

質問 OECD43か国の中で、日本の国民負担率ほどの程度か。

回答 来年は資料を持ってきた。高等教育のGDPに占める負担率は、OECD平均で30%、日本は65%、アメリカ63%など。北

欧諸国は、税金の負担率が高い。アメリカ、オーストラリアなどもそうだが、大学の私費負担率は少ない。

質問 請願項目の「3」は切り離してほしい。

回答 生徒たちの進路指導も教員の仕事である。一体のものとして請願したい。思いをくみ取ってほしい。



▲地域の評価が高まっている北部高校

発議

森林環境譲与税の譲与額を森林面積の多い市町村に増額への見直しを求める意見書
— 可決

源流にある市町村の森林環境をより多面的に整備し

発議

ていくことが重要であり、森林環境譲与税がより多く配分されるよう、基準の見直しをすることを求めた。

賛成討論 — 渡邊 千賀雄

森林は、水資源環境、国土保全と土砂防止機能は自然災害が多発する中で見直され、緑のダムといわれる。管理現場へ面積重視で見直すことは、利に適っている。

賛成討論 — 荒川 詔夫

当該譲与税配分見直しは、当町のように森林面積を多く抱える市町村には財政面で有利となり、課題解消に役立つと考えられるため、賛成である。

賛成討論 — 原田 重美

地球環境保全は、世界的な緊急課題。国は、森林整備を担っている地方に対し実態に合った財政支援をし、税金の効果が出る適正配分へ見直すべき。

反対討論 — 風間 行男

当町に森林組合がないため、町に増額のメリットがないので反対。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
— 可決

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしている中で、地方税、地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策などの喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今の地方財政は、かつてなく厳しい状況になることが予想されるため、国に令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、強く要望した。

補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第4号)
— 可決

既定予算に7億294万円を増額し、総額を105億4634万円とした。

主な歳出

- ・病院施設費(減収分補填、抗原検査機器等) 3700万円
- ・アップルミュージアム コロナ対策工事請負費 1800万円
- ・橋梁長寿命化工事請負費 1500万円
- ・地方道改修工事請負費 3200万円
- ・財政調整基金積立金 2億円
- ・予備費 1億432万円

補正予算

決算審査報告

令和元年度一般会計・特別会計・企業会計
決算審査報告書 (抜粋)

代表監査委員 山本孝利

監査に付された各会計の決算書調書等は法令に準拠して作成され、計数は適正であると認定した。現金・預金及び基金や町債の残高に誤りのないことを確認した。

一般会計は、総額90億円余という過去に例のない多額な決算額だが、実質収支額5億円余の黒字という好決算となった。

また、特別会計・企業会計もすべて黒字決算であり、飯綱町の現状は順調に推移している。

牟礼・三水合併後10余年、ようやく新庁舎の建設にこぎつけたが、町民結束のシンボルとして完成が待たれる。

飯綱町挙げて推進してきた地方創生事業は仕上げの時期を迎えているが、この間に完成した施設は多く、豊かな郷土づくりの大きな力となるものと思われる。

すべて今後の活用如何にかかっているので、宝の持ち腐れにならないようにしっかりと運用願う。

町政の目標としている「日本一のりんごの町」「日本一女性が住みたくなる町」の進捗状況は芳しくないもので、成果の上がるよう推進を願う。

上水道事業は現状順調だが、設備老朽化への対策は十分ではない。

下水道事業は町債の負担重く大変だが、企業会計への移行と合わせ、公共下水道への統合を推進しコストの削減を図ることが必要。

病院事業は、関係者の努力により経営状況は改善しつつあるが、設備投資の負担が重く、企業債の返済が重荷となっている。

令和2年 6月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	清水均	風間行男	中島和子	目須田修	瀧野良枝	原田幸長	石川信雄	荒川詔夫	伊藤まゆみ	清水満	樋口功	渡邊千賀雄	原田重美	青山弘	大川憲明
飯綱町多目的交流施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町企業立地の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯綱町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
令和2年度飯綱町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○
令和2年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯綱町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品購入契約の締結について(凍結防止散布車1台)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品購入契約の締結について(児童・生徒1人1台のタブレット)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品購入契約の締結について(庁舎什器・備品)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について(旧牟礼西小跡地拠点施設整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事変更請負契約の締結について(公共下水道管路施設工事袖之山-野村上)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品購入契約の締結について(小中学校情報通信ネットワーク)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「教育費無償化」の前進を求める請願	採択	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「ゆきとどいた教育」の前進を求める請願	継続審査															
地域高校の存続と30人規模学級を求める請願	継続審査															
森林環境譲与税の譲与額を森林面積の多い市町村に増額への見直しを求める意見書案	可決	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

採択された請願、陳情、発議については、関係機関に意見書を提出しました。
※紙面の関係上、全員賛成の議案は割愛したのがありますので、ホームページをご覧ください。

コロナ禍、災害対策など課題と方針を質す

青山 弘議員

- 1 新型コロナと水害における災害と感染リスク、どちらを優先するか

伊藤 まゆみ議員

- 1 来年度からの介護保険料は
- 2 子ども達が安心して生活できる環境を

中島 和子議員

- 1 複合災害発生時の町の対策は
- 2 第2次飯綱町総合計画の前期基本計画見直しと後期計画作成は

瀧野 良枝議員

- 1 指定管理者制度に住民による評価システムの導入を

原田 幸長議員

- 1 行政のデジタル化推進を

清水 均議員

- 1 「人生100年時代」に備えた対策は
- 2 町有財産の見直しは

風間 行男議員

- 1 移住者へ条例の見直しは

荒川 詔夫議員

- 1 今後の町政のあり方は
- 2 近年の異常気象に伴う町の防災・減災対策は

渡邊 千賀雄議員

- 1 コロナ危機での感染防止・対策は
- 2 コロナ禍での生活、事業者への支援・対策は
- 3 「核兵器禁止条約」に政府の参加を求めることは

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



一般質問

傍聴席



静谷 到さん
(倉井)

令和2年9月4日・7日飯綱町議会定例会の一般質問に全議員出席の議場で傍聴させていただきました。9名の議員の質問に對して町長はじめ各担当者から答弁がありました。4日は時節柄、新型コロナウイルス問題が多くテレビ、ラジオ等報道関係は今日はどこどこで何人感染、濃厚接触者等々報告しているだけではなく、飯綱町議会では活発なPCR検査、抗原検査、それに対するの料金等説明が行われまして本日は傍聴に来て良かったと思

地元のため、町のために もうひと踏ん張りを

7日の議会では3名の議員の質問がありました。町全体の人口減少、行政評価、町政、災害等々でしたが町民の一人として全くなり、傍聴して理解できとも勉強になりました。飯綱町には15人の立派な議員さんがいますので、地元に戻り議会報告があつたらもっと議会に對して関心がもてると思いましたが、議員さんも忙しいとは思いますが、地元のため町のためにもうひと踏ん張りしていただきたいと思いました。

新型コロナと水害

災害と感染のリスク

どちらを優先するか



青山 弘議員

町長 避難指示が出たら迷わず避難を

災害時の避難は どうあるべきか

青山 新型コロナウイルスが収束しない中、災害時の避難はどうすればよいか。

町長 災害が起きそうだが、もしくは起きている場合、警戒レベルが3・4になった時には速やかに避難行動を起こしてほしい。

青山 避難する人は、災害のリスクと感染のリスクのどちらを優先すればよいか。

町長 ともかく身の危険を感じた場合は迷わず避難行動を起こしてほしい。ただし避難先については、どこに避難すればよいか、予め家族で検討しておくことが大事。

なお、今回のコロナ関係で避難所は危険がいつぱいというイメージを持たれるのはいささか残念。今回の補正予算で、避難所に十分な対策ができるように着々と準備を進めている。

感染者が出た場合の対応は

青山 避難所からコロナ感

一般質問

感染者が出た場合どこに搬送するか。あらかじめ医療機関や保健所と連携しておく必要があると思うが、どう準備しているか。

保健福祉課長 発熱等の症状のある人が出た場合には、コロナ感染を疑い、感染拡大を想定し、個室等を確保し隔離。濃厚接触者となりうる者の聞き取り。部屋とスペースを確保し経過観察を行う。発熱の病種を判定できないので、発熱外来を行っている病院や県の保健福祉事務所と連絡を取りPCR検査や早期移送を行う。

なお、避難所内でコロナ感染者が出た場合は、濃厚接触者ではなくPCR検査を受けられない人（濃厚接触者は受けられる）については、年内に飯綱病院で抗原検査が行えるように進めているので今後活用したい。

青山 飯綱病院のPCR・抗原検査の検査料はいくらか。
病院事務長 有症状者については、公費負担（保険適用）だが、無症状者は対象外。

無症状者の検査料は、病院ごとに違う。当院は、PCRが税込み3万2500円。抗原検査は1万5400円。

ボランティアは 地域内に限定

青山 コロナ禍でボランティア募集は制限されると聞いたが、その備えはどうするのか。

保健福祉課長 全国社会福祉協議会のガイドラインは、広域に幅広く参加を呼び掛けるべきでないとして記述している。地域住民の自



▲国は、安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚・知人宅を優先避難先とすることを勧めている



▲人手不足が懸念され復旧活動を悩ませる

助・共助により復旧作業を進めることになる。

複合災害発生時の町の対策は

町長 最悪な状況を想定し少しずつ整備

複合災害（コロナ禍での災害発生）への備えは

町長 災害で一番恐れる大地震では、2・3日は自分自身を守って欲しい。そのうちに周囲も動いてくる。その極めて深刻な状態に、コロナを合わせることへの妙案は浮かばないが、ひとつひとつ最悪な状況を想定したうえで少しずつ整備をしていくより方法はない。



中島 和子議員

するには分散避難が効果的と言われる。住民の安否確認は。

保健福祉課長 避難先が不明な場合は住民の皆さんから発信をしていただかないと把握できない。避難先を区・組長・民生委員等に告げるとか、普段のつながりでの共助が大事になってくる。

中島 避難所運営における事前準備は。

保健福祉課長

・症状のある人との接し方

受付では飛沫感染の対策をして検温、問診にあたり、一般避難者と交わることがないようにする。ゾーンニング（区域分け）により専用スペースに移動していただく。

・業務にあたった職員の相談体制は
気持ちと体の行動サイン

の対処として自分の状態を知るセルフチェック方式を使う。同僚間で孤立しないようにサポートしていく



▲日頃の避難グッズ点検を

に対し心身のケアが必要。生活応援対策として感染症対応臨時交付金の活用はどうか。

町長 高齢者の方から、日用品など便利に買えるようなプレミアム商品券発行への意見もあった。交付金の枠の中で今後の動向を見ながら内部検討をする。

区・組の災害対策は見直しされるか

中島 複合災害に対応する総合防災訓練の方法とガイドラインの作成は。

総務課長 区・組での訓練には、各家庭内において複合災害を想定した防災対策の確認することも紹介した。実施する地域も多い。今後の状況によっては、訓練を何度か重ねていく必要性もある。ガイドラインについては、今年の訓練を踏まえ課題の整理をして必要なら作成する。

中島 区・組での今後の取組は。
総務課長 地区特有の

課題がある。地域のつながりを最大限に発揮した分散避難や安否確認の方法など検討していただきたい。
補正予算で区・組へ感染対策支援事業として上限10万円計上している。

その他 来年度見直しされる、第2次飯綱町総合計画の後期計画に向けて。多くの住民の声を反映させた私たちの指針として、町民の活力となる計画策定について質問した。



▲コロナ禍での総合避難訓練の様子(平出地区)



原田 幸長議員

一般質問

小中学校での
オンライン学習は

原田 児童生徒が使うICT環境の整備の進捗状況は。
教育次長 オンライン学習のライセンスを各校で取得、パソコン等に対応できるカメラ・マイクを配置、タブレットを両小学校に3台、中学校に20台使えるよう設定済み。児童生徒1人1台と教師用あわせて775台のタブレット端末は12月までに納入の予定。

行政のデジタル化
施策の進捗は

原田 被災者支援システムを導入する考えは。
総務課長 費用対効果を考えると難しく見送ってきた。国はシステムの標準仕様書を検討しており、現段階では国、県内市町村の動向を注視していく。
原田 公共の施設など、オンライン情報やアプリなどを活用した予約システムの確立、プッシュ型の情報発信などの取組状況は。
保健福祉課長 接触確認ア

プリ「ココア」の活用を情報発信。

企画課長 メール配信システムを実施。登録者が1200人ほど。電子申請の関係では、「びったりサービス」のシステム運用で定額給付金を60件の申請受付。費用対効果を考えながらオンラインを活用した住民サービスを研究していく。
原田 行政手続きのオンライン化と、町民へのプッシュ型通知を進める考えは。
町長 申請・証明それぞれの事務をデジタル化していくことは、県の自治総合組合全体で行っていく。共同で行った方がサービスの標準化になり妥当と考える。



▲オンライン授業のイメージ

半農半X(天職)を生活スタイルに
原田 半農半X(天職)という生活スタイルを取り入れる動きが広がりがつつあるが見解は。
町長 農業は日本人にとつてただの産業とは違う。文化の一つとして日本人の心の中に存在している。飯綱町のような立地条件には、そういう時代が来たと思う。
原田 町民や移住者が、半



▲「半農半X」のイメージ

農半Xを実践できる町民菜園などの場所の確保についての考えは。
町長 市民農園法、農地法において農地取得について緩和措置もあり、できる限り町の良さを売り込むため、農地の確保について研究し配慮をしていく。

移住者へ条例の見直しは

町長 魅力ある制度に検討

風間 飯綱町移住定住促進中古住宅購入補助金について、第四条に40歳未満とあるが理由は。

町長 個人の財産の取得に支援することは良くない。

町に移住して20年、25年して定年になる人に対して考えて実施する。

風間 住宅購入の20%に見直す考えは。

町長 今の状況、空き家対策を考えた時「人口増推進室、ワーキングチーム」で再検討したい。

風間 移住定住リフォーム



風間 行男議員

補助金、年齢制限をなくし誰もが移住定住するようにすべきでは。

町長 中古住宅取得と趣旨は同じ再検討したい。

風間 地域との関わりが嫌で転出する人がいる。移住条件に区、組の行事に参加義務があるが、見直しは。

町長 一つの組織に無理やりに入れて区費、組費支払っていくという制度はいかなものか、委員からの指摘がある。広報などは手配りでなく郵送の検討をさせたい。

風間 台所、風呂、水回り、屋根工事、個人でのリフォーム補助金限度額が20万円だが、工事費の20%に引き上げすべきでは。

企画課長 リフォーム補助金H29年から3件60万円の補助経費は400万円かかっている。民間業者が賃

貸するリフォーム1件100万円の補助となっている。

風間 H30年まで利用があったが、令和元年は利用がなかった理由は。

企画課長 理由ははっきりしないが、リフォームする空き家がなかった。今年度は申請があり順調である。

風間 町に一人移住するとどれ位の経済効果があるか。

町長 1000万円の収入があれば100万円の所得税30万円程の交付税プラスになる。地域の活性化にもなる。

風間 空き家の片付けの費用限度額は10万円だが、業者委託費が50万円から100万円ぐらいかかる。令和元年度は利用者0件。増額の考えは。

町長 昨年創設した。良い物件でも中の物を処分しないと住めない。中古住宅取



▲町内の中古売物件

得、リフォーム、中の物処分への費用支援、一連のもの今のままで良いか。もう一歩進んだ魅力ある制度にしていった方が良いか検討したい。

使い切り予算の

見直しを

風間 こども居場所確保の天狗カフェで開催事業の予算消化する指示や余った食材の持ちかえり等があった



のためのものである。

と聞くが、参加した子供よりボランティアの人数が多い時もあった、など無駄な経費削減を。
保健福祉課長 予算消化で余って困っているとは聞いていない。昨年是谁でも来られるようにした。社協には100万円で委託している。ボランティアも増えてランテアも増えている。JA、フードバンク、有志から食材提供もある。社協への支出は組織安定的な運営

コロナ禍

各施設でのPCR等検査力を 高めることは



渡邊 千賀雄議員

町長 飯綱病院でも11月末から抗原検査

コロナ危機での 感染防止・対策は

渡邊 感染拡大が進む中、町民は地域で感染者が出なければ、また家族や自分が出なければ、また家族や自分が出ない不安と危機感を抱いている。感染情報を開示する考えはあるか。

保健福祉課長 長野保健所の管轄で、県の対応で開示している。

渡邊 今後の予防体制を明らかにし、安全・安心な状況を周知することは。

保健福祉課長 厚労省からの指示で集団検診はやめ、個別健診にした。インフルエンザ予防は高齢者優先で呼びかける。

渡邊 集団感染のリスクが高いと言われている医療機関、介護施設、福祉施設、保育園、学校などに勤務する職員等の感染をどう防ごうかが重要だ。各施設で定期的にPCR検査等を行うなど、検査力を高めるはどうか。

保健福祉課長 PCR検査は、感染者を発見するものではなく、感染していない

一般質問

かの検査だ。病院事務長 県と行政検査

(PCR検査・抗原検査)の締結をしている。料金は、PCR検査(税込み)30,250円、抗原検査15,400円。飯綱病院でも抗原検査の機器を購入し11月末から結果を出せる。

コロナ禍での生活、 事業者への更なる 支援・対応策は

渡邊 コロナの影響に対して、個人や事業者に支援制度が実施されているが活用が遅れているように思う。特別定額給付金の給付率は。あと何人か。

保健福祉課長 99・84%給付済み、未申請は9世帯、11人。

渡邊 そのほかの国、県、町の支援策の実施状況と受給状況は。

各課長 介護保険料の減免、子育て世帯支援、固定資産税納付猶予、国保税減免、国民年金減免、事業者支援金、などの実施状況について詳細に回答あり。



▲飯綱病院へ導入予定の抗原検査器(ホームページより)

「核兵器禁止条約」 に政府の参加を求め ることは

渡邊 2017年7月に、国連で人類史上初めて核兵器を違法化する「核兵器禁止条約」が採択された。日本が世界で唯一の被爆国として、75年経過の今年、「条約」発効に必要な批准国数50まで残り6ヶ国となっている。日本政府はこの



▲「非核平和宣言の町」宣言塔(国道18号線沿)

府に意見をしっかりと行っていく。

「条約」に反対の態度だ。「非核平和の町宣言」している町長として「条約への参加を求め声」を上げていくべきと思うが。

町長 反核、反戦はだれもが賛同だ。機会を通じて「条約」に加盟すべきと政治

来年度からの介護保険料は

町長担当と一緒に検討したい

伊藤 今年度中に策定予定の、第8期介護保険計画の方針は。

保健福祉課長 介護保険法、社会福祉法、障がい者の関係法が改正された。横の連携の中で新たに深めていきたい。

伊藤 これまで給付総額を大きく見積もりすぎていたのではないかと考えるが。

保健福祉課長 5期まではそうであったが、6期で改善され、7期は予定通りに推移している。

伊藤 基金残高が令和元年



伊藤 まゆみ議員

度末で、2億6304万円余もあり、これまで被保険者に大きな負担を強いてきた結果である。

次期保険料をどのように考えているか。

保健福祉課長 策定委員会は、1回目を開催したところであり、これから詰めていく。

伊藤 保険料の徴収は10段階で行われているが、所得に見合った保険料にするには多段階にすることが良いと考えるが。

町長 基金の額は、1年分の保険料と同額に近い。

保険料徴収を多段階にするか、保険料を引き下げるか、担当に任せるだけでなく長としても一緒に検討したい。

子ども達が安心して生活できる環境を

伊藤 新型コロナウイルス感染症の拡大が、学校生活に大きな影響を与えている。現状の学級編成で、心配はないか。

教育長 文部科学省のガイドラインに沿っており、小中ともに問題はない。小学校では、間隔をあげると端の列が暗いので、照明を増やす手だてを考えている。

伊藤 全国的に少人数学級を求める声が多くなり、小、高、特別支援学校校長会の会長から少人数学級の実現を求める声が相次ぎ、全国知事会、全国市長会、全国町村会の各会長からは、少人数編成を可能とす

る教員の確保などが要請されたと報道された。コロナ禍の今だからこそ、県に強く求めるべきだ。

教育長 年に何回か県と懇談会があるので、求めている。内容の充実に努めたい。

伊藤 コロナ禍の下、家にいることが増え、全国では虐待やDVの増加が伝えられている。町の状況は。

教育次長 相談体制は、整えている。休養期間中、新型コロナウイルス感染症に起因したものはなかった。



▲牟礼駅付近の史跡を見学(サロンたかおか)



▲新しい生活様式の中での授業風景

指定管理者制度

住民による評価システムの導入は

町長 地域の意見を取り入れ 施設の活性化を



瀧野 良枝議員

一般質問

事業者選定の評価体制は

瀧野 事業計画の実現可能性、収支予算の妥当性の判断は、専門的知見のある外部評価員の導入は。

総務課長 所管課にて事前に内容を精査、審査会でヒアリングを行い、選定基準に基づき審査。必要な場合には外部の助言を得る形で良いと考える。

業務履行中の管理体制は

瀧野

- ①事業者の自主点検と利用者アンケートによる業務改善の取組は。
- ②担当課による定期的な現地調査・改善指示、事業者からの是正報告の実施状況は。
- ③住民や利用者参加型の管理運営委員会の設置状況は。

飯綱東高原観光施設

産業観光課長

- ①利用者の意見・要望は四

- ②必要に応じて実施。
- ③管理運営協議会を年1回開催し、地域との連携、管理上の課題、改善事項、情報交換を実施。

三本松農産物直売所 食ごよみ日和

産業観光課長

- ①不定期に利用者アンケートを実施。
- ②担当課で日々現地確認、適正管理に向けて改善指示。
- ③管理運営委員会機能を持つ住民参加型の経営戦略会議を設置予定。

メーラプラザ

企画課長

- ①イベント実施時に参加者から意見を聴取、「小さな拠点形成推進会議」を設置し、運営状況の確認、評価を行い、改善に繋げる。
- ②開館まもないので管理方法や不具合についてこまめに連絡調整している。
- ③利用者目線に立った施設

運営は非常に大事なもので、住民や利用者参加型の会議の開催について前向きに検討する。

住民による評価システムの導入を

瀧野 旧小学校である2施設も指定管理の方向性が示されている中で、政策主体であり、受益者である住民をいかに巻き込んでいくかが重要。住民による評価システムにより、住民ニーズの深掘りや、政策課題の発見に繋がるだけでなく、政策実施に対する住民からの合意形成にも役立つと考えるが。

町長 農産物直売所は生産者だけでなく、消費者代表の意見が入った方が良いと思う。両小学校は地域の意見が入ってきて、自分たちが育てている、一緒に活性化させていこうと感じられる形を考えていきたい。



▲地域住民をいかに巻き込めるか 期待が膨らむ
【いいづなコネクトEAST(旧三水第二小)】 【いいづなコネクトWEST(旧牟礼西小)】

「人生100年時代」に備えた対策は

町長 知識・経験・技術を活かし貢献を期待

清水 今年の8月1日現在の町の100歳以上と75歳以上の男女別人口は。

住民環境課長 100歳以上 男性0人、女性13人。
75歳以上 男性866人、女性1304人。

清水 今後リタイアしたシニア世代の位置付けは。

町長 元気で働ける方は、その人の持っている知識や経験、技術を活かして社会貢献をして欲しい。

新たな知識を吸収していく機会を設け、社会的貢献を促していきたい。



清水 均議員

清水 各世代に応じた未病対策は。

保健福祉課長 子どもには運動などを、女性には女性特有の健康課題。働く世代ではメタボ対策、高齢者にはフレイル対策など、特に食・運動・社会参加の3つの取組が大事である。

清水 子どもの体づくりのための運動が行える公園や自転車道の建設は。

町長 若いご婦人の方からも公園の整備を望む声がある。赤東地区、牟礼西地区、駅前地区、旧三水庁舎跡を候補地として計画段階。

清水 福井団地の若者住宅周辺で公園等が無く、道路での遊びが多く危険である。前の空き地を自転車道にする

ことはできないか。



▲道路で遊ぶ子どもたち

町長 現地を視察する。福井団地は大きな集落で、一箇所では不便する場合もあり、違った種類の公園も良い。今後、検討する。

清水 健康増進のための無

関心・無行動な人をいかに減らすか。

保健福祉課長 10月からいろいろなカードの行政ポイントの仕組みを活用して、健康分野の方法を考えている

清水 健康寿命延伸策は。

保健福祉課長 がん・糖尿病・心の健康など、各分野で数値目標を掲げ、目標達成に向けて各種健診等の事業を実施している。



▲パワーリハビリで健康維持を

保健福祉課長 事業に参加することで、社会参加や交流ができ、健康な暮らしにつながるかと考える。体力測定で衰えはない。

町有財産の見直しは

清水 町有地で使用可能な農地は。

町長 町は原則農地は持てない。

清水 町有林の桂山を带状間伐から点状間伐にして、レンジツツジや遊歩道造ることは。

産業観光課長 木の成長を促すため植林は考えてはない。带状間伐は針広混交林の山を形成させるためと考える。

清水 森林環境譲与税が創設されたが、下流域との交流の考えは。

町長 北陸地方の方はリング好きが多く、皆さんに来ていただきたい。森林環境税を使った交流となると、人口割で多くの税が配

分されている首都圏一帯でも、そのお金を使って飯綱町へ来て里山を味わってもえればと考えている。

一般質問



荒川 詔夫議員

人口減少を踏まえた町の将来像は 町長 バランスのある人口の町づくりを

今後の町政のあり方は

荒川 町長は就任以来8年を迎えるが、人口増対策を顧みた事業の総括は。

町長 就任以降も人口が減少している。住んで子どもを育てるには良い町と感じている。

荒川 町の人口減少を踏まえ、将来像をどのように描いているか。

町長 町に移住したいと思っても、住む家が無い。社会条件に恵まれているため、人口対策を地道にバランスのとれた町づくりを展開したい。

荒川 婚活対策、3世代同居策を含め、社会動態人口（転出入の人口）増に向けた考えは。

町長 町から転出者が多い要因を分析すること、若い女性が住みたいと思う町づくりを進めたい。

荒川 町づくりには人材育成と強化が求められる。考えは。

町長 人材育成は大事。行政は研修・学べる機会を提供して、ホームページ等を通じて情報提供に努めたい。

一般質問

荒川 3保育園・2小学校へ整備統合された。

しかし、町の乳児の出生数は年々減少している。今後のあり方と見通しは。

町長 2小学校は、地域それぞれの良い伝統がある。しばらくは現行でいきたい。

最近における飯綱町の乳児出生者数

単位：人

年度	25年度	26年度	27年度
出生者数	68	41	49
28年度	29年度	30年度	R元年度
56	39	50	25

※注 25～30年度は平成年度（飯綱町住民環境課資料による）

南部保育園は大規模改修の時期に来ているが、その時にあり方を考えたい。

何としても転入を含め1学年80人以上の確保に向け段取りを行いたい。

荒川 空席になっっている副町長の任用の考えは。

町長 ある程度若くて将来を担ってくれる人を探している。

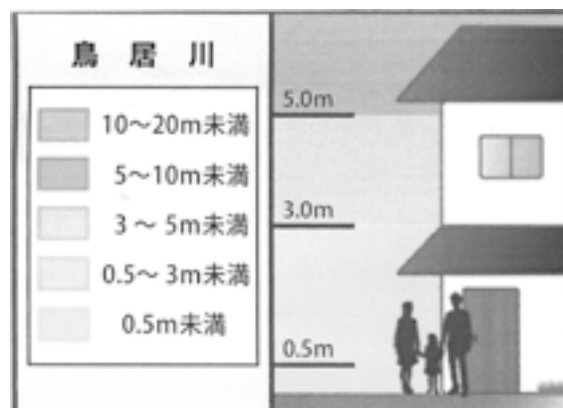
町の防災・減災対策は

荒川 鳥居川の洪水による浸水地域（深沢・栄町・本町など）がハザードマップに示された。大災害の確立は1000年に一度とあるが、どのように捉えるべきか。

また、降水量との相関関係はどうか。

町長 何時でも起こり得る災害と考えている。1日7

鳥居川の洪水による浸水の深さの目安



▲1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/1000程度（飯綱町土砂災害ハザードマップ資料による）

15ミリの降水量により、浸水地域が3〜5メートル浸水すると想定をしている。

荒川 浸水地域における防災・減災への具体策は。

建設水道課長 鳥居川では河川の浚渫を行っている。堤防の改修や道路法面の対策を行う。

県とも調査研究を行い、有効対策を早期実施に向け要望をしていく。

荒川 県道「長野荒瀬原線」は主幹道路である。大災害時を踏まえ、高架橋を再検討すべきと考えられるが。

町長 時期を見てお願いをしたい。

町民が求める必要な施策の実施を 町長に予算・政策要望書を提出



▲来年度予算に反映を期待

議会は令和2年10月22日に、正副議長、2常任委員長が次年度に対する予算・政策要望書（6テーマ・69項目）を町長に提出した。町民が求める必要な施策の実施を求め、議会報モニターの皆様からのご意見や要望なども含め、各常任委員会で検討後、議員全員協議会で確認し、令和3年度予算・政策要望書を提出した。

要望の内容

町民の意識強化に努めること。

町は合併後15年が過ぎ、将来にわたっての持続可能な行財政運営を図るため、これまで以上に改革に取り組み、健全な財政運営が求められる。

3 「産業づくり」

効率的で時代に即した予算編成を求め、施策の実行を次の通り要望する。

・農業の担い手確保のため、①農業を知る、②農業を学ぶ、③農業で自立する、それぞれの段階で新規就農者へ積極的な支援をすること。具体的には、次のような事業の拡充を図ること。

①「農業を知る」段階での支援

1 「環境づくり」

・田園・里山地域における伝統的な生活と文化を次代へ引き継ぐこと。

・ワーキングホリデー事業、就農相談会事業、広報事業（新規就農者への支援をPRするチラシ作成等）等の実施。

・広葉樹を主とした、里山づくりや森づくりに対する町民の意識を喚起し、苗づくりや植樹の手入れ等を促進するための指導、及び支援をより積極的に行うこと。

②「農業を学ぶ」段階での支援

2 「生活づくり」

・自主防災組織の全地区での組織化及び支え合いマップの更新により地区内の組織の充実を図ること。また、災害時における地域ごとの安否確認、避難体制の構築、災害時要援護者台帳の整備を進め、

③「農業で自立」段階での支援
新規就農者向けの住宅・倉庫の建築事業、農業機械購入補助事業等の拡大と充実。

5 「人づくり」

・これまでに町章が制定され、町民にとって、愛する郷土のシンボルとなっている。加えて、郷土愛をさらに育むため、町歌を制定すること。

6 「まちづくり」

・ボランティア活動参加者が固定化していることに対応し、どこでも、誰でも、気軽にボランティア活動に参加できるよう、コーディネートのできる人材を育成するとともに、人々のライフステージに沿ったボランティア活動の機会、気軽に参加できるプログラム等を提供できるよう努めること。

*一部抜粋
詳細はホームページで確認

あの時の あの質問 どうなった??

【平成31年3月 一般質問】

Q 敬老事業として高齢者写真撮影事業を。

A 今年度からというわけにはいかないが、大いに参考にする。



【敬老事業】思い出の一枚を

対応 令和2年度予算計上により、今年度メーラプラザにおいて、77歳(喜寿)の方を対象に63名の写真撮影を実施した。



【令和元年6月 一般質問】

Q 総合防災訓練に、安否確認訓練など避難支援を入れた防災訓練を。

A 実施できるよう勧めていきたい。



対応 区長組長会で周知し、令和元年度9月防災訓練では16ヶ所を実施した。今後も継続していく。



【防災訓練】消防団による土嚢作り訓練

あの質問どうなった

台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し
避難しましょう!

- ① 警戒レベル3 → 高齢者・避難に時間を要する人は危険な場所から避難
- ② 警戒レベル4 → 危険な場所から全員避難

【令和元年6月 一般質問】

Q 学校給食と農家を結ぶ地産地消推進コーディネーターの育成を。

A コーディネーターの役割を果たせるような人材の育成を前向きに検討する。



対応 コーディネーターの役割は、直売所スタッフが適任と考える。事務局レベルの打合わせでは、学校給食での地元農産物利用を増やすには、農業者と給食担当者それぞれの工夫と理解が必要と考えている。



【地産地消】開店準備をする直売所スタッフ

【令和元年9月 一般質問】

Q 牟礼駅跨線橋の上り下りが大変。プラットフォームと電車の降り口の差が大きい。しなの鉄道に要請し解決を。

A しなの鉄道は障がい者の方、高齢者の方が利用しやすい効果的方な駅の在り方について検討している。町も共に検討しながら進めていく。



対応 しなの鉄道に改善を要請している。



【牟礼駅跨線橋】上り下りを結ぶ跨線橋

【令和元年12月一般質問】

Q 太陽光発電設備設置について、条例等で町の対応を明確にすべきだが。

A 太陽光だけの条例の制定が必要なのか、環境保全条例の改正、景観条例等検討していく。



対応 景観計画を策定中。引き続き景観条例制定の検討をする。



【景観計画】実りの秋を迎えた町の眺望

あの質問どうなった

議会だより第59号(6月定例会)

モニターアンケートにお答えします

通学路の街灯の増設は

Q 子供達の通学路の街灯がまだ少ないように感じます。中・高生の部活帰りの子供達が夜道を不安なく帰宅できるように、街灯が増えればいいなと感じています。

A 現在町内には、1963ヶ所に防犯灯を設置し、維持、管理は町で行っています。必要な箇所については区長さん等を通じて、要望を出してもらえれば、検討して設置します。

人口増対策は

Q 人口増対策をどのように進めるかについては種々の案が出ているが、今後この件についてはどの程度進行しているのか、タイムリーな情報が欲しい。空き家対策の状況も知りたい。

A 庁内に、人口増推進室を設置し、「3世代同居促進事業」「移住対策」等を具体化して進めています。また議会では、「飯綱町の輝く人口増対策について」政策サポーターのみなさんの知恵や意見を出していただき、議会との協働で町づくり政策を作っていきます。

使われなくなった予算は

Q コロナ禍の中、諸行事が中止となり、予め予算を組んでいたにもかかわらず使われなくなった予算は、今後、どのように処理されるのか？

A 全体での収支の残額は、約半分は翌年度への繰越金として、残りの半分は、財政調整基金として積み立てられます。

今まで関心がなかったが

Q 今まで議会のことにほとんど関心がなかったのですが（はずかしいです）、これを機に議会に関心を持ち、勉強させていただきたいと思っています。素人は素人なりに声に出せば良いんですね？

A 是非そうしてください。「日ごろ思っていること」や、「こうあったらいいな」といったことを提案してください。

意見、要望として・むーちゃん駐車場もっと必要

Q いいづなマルシェむーちゃんの駐車場がせまく、車が停められず交通渋滞が発生している。

A 計画的に整備していく予定です。

新しい町づくりへ 私の提案

第20回

先人たちの経験や知恵を学び、活かす



山岸 彩さん
(地域おこし協力隊)

私が地域おこし協力隊になって数ヶ月、町のいろいろな方にお会いして話を聞く中で素敵だなと感じることは、町の伝統や文化がちゃんと残って存在しているところ。とはいえ、守ってくださっている方々が高齢になってきていて、後継者がいないということも耳にすることもあり、とてももったいないと思います。私は、こうした歴史や文化の積み重ねによって「飯綱町らしさ」が出来上がっているとと思うので、これからも少しずつ形は変われど、こうした先人たちの経験や知恵、町の伝統や文化が、新しい価値や文化と織り交ざりながら受け継がれ、活かされた町づくりをしていきたいなと思います。

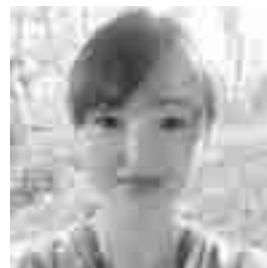
避難訓練に思うこと



龍野 克利さん
(御所之入)

20年以上も前、足が不自由な我が家の婆様が存命だったある日。その日は村の防災訓練で、有線放送が朝からけたたましく避難を呼びかけていた。「婆ちゃん避難訓練だ、さあ一緒に逃げよう」と声を掛けたが「俺ら足痛いから行かない。留守番してるから心配しないで行って来い」と渋る。何とか説得して一緒に避難したが、避難場所は足腰壮健な人ばかり。近所には単独避難の難しい人もいる筈だが、この日の避難場所では殆ど見掛けなかった。他所には体の不自由な人を担架やおんぶで避難させる訓練、全世帯を一軒一軒回って安否確認する訓練もあるという。毎年の避難訓練を地区みんなで行き返り改善を続けられれば、災害時にも強い町になると思うが。

未来につなぐコンパクトタウン



遠藤 美代子さん
(東高原)

自然豊かな飯綱町、それは、これからの時代にとって町の大きな財産です。住民にとっては当たり前なのですが、現代社会においては、とても恵まれた環境です。その自然環境の魅力や資源、基軸産業を最大限に生かし、本当の意味で、持続可能な循環型のコンパクトタウンを目指すのはいかがでしょうか？
今、地球規模で懸念される気候変動、それに伴う食料危機、新しい生活様式を求められる感染症など、もはや他人事ではすまされず、おろそかに出来ない社会課題は、ごく身近にあります。
また、人間活動の全ては自然界のバランスに影響を与え、結果的に人の心身の健康にまで影響を与えるとも言われます。人間社会が発展してきた中、置き去りにされた大切なものが存在する町として、未来の世代につないでゆく…小さな町だからこそ一体となって、課題解決に取り組みば実現可能ではないでしょうか？

第5次政策サポーター始動

政策提言テーマ 子どもたちの未来は飯綱町の未来

青木 佑馬	飯田 安彦
池田 智子	小池 聖
富樫 悦子	西崎 啓吾朗
渡邊 裕稀	

政策提言テーマ 飯綱町の輝く人口増対策について

相澤 隆	浅川 洋
田村 吉幸	仲俣 正人
松下 千恵美	眞鍋 知子

飯綱町のテーマである日本一のおんごの町や女性が住みよい町づくり等の政策を立案する政策サポーターには、13名の皆さんが決まりました。飯綱町議会
第5次政策サポーター会議名簿(敬称略)

■ 12月定例会予定
11月26日～12月11日(16日間)
一般質問
11月30日(月)・12月1日(火)
常任委員会
2日(水)・3日(木)



60号表紙説明
応募者「みつどんファン」さんからのコメントです。「普光寺に毎年現れるカシアート。今年はどうなスタイルかな？大人も子どももワクワクします。でも実は、リアルなカカシさんがちよっと怖い子も(笑)」。

編集後記
今は欠かせないマスク。大正時代に粉塵防止用としての工場マスクが初めて登場(ガーゼマスクは昭和23年頃)以来、感冒の大流行の度に需要の急上昇を繰り返してきたようだ。思いっきり空気を吸い込める日常に早く戻りますように。(和)

編集委員

憲明	大川
信雄	石川
幸長	原田
和子	中島
良枝	瀧野
まゆみ	伊藤
千賀雄	渡邊
行員	人長
委員	委員長
副委員	委員
委員	委員
委員	委員
委員	委員

議会だよりモニター 生の声 ②1
移住した理由とその後
村田 政敬さん (東高原)

平成13年に長野市から東高原に引っ越してきました。自分で家を建てるために大工になり、建築場所はと考えた時、子どもたちが田舎で少人数の学級で、ゆとりの教育をしていただける所をイメージしながら探していました。たまたま知人の不動産屋の紹介で、この「からまつの丘」が見つかりました。北側には、私たち夫婦が結婚式を挙げた飯綱高原教会もあり、嫁さんにも納得してもらい、この地に決めました。何で雪の多い所にわざわざ住んだとの声もあります。が、子どもたちも家の前でそりなどの雪遊びを楽しんでいました。学校も私の願いどおりのゆとりの教育で、先生方に勉強を丁寧に指導していただき、立派に巣立っていきました。